

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を含わせつくりましょう
  - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
  - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
  - 1 すくねた教育と文化を育てましょう
  - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

# 夏休みを楽しく

## 子どもを非行から守ろう

### 十五歳は「危ない年齢」

子どもたちにとって、待ちに待った夏休みがやってきました。成長期の子どもにとっ、夏休みはふだんの生活と違った形で、貴重な体験が得られる時期です。半面、交通事故がふえ、非行が目立つときでもあります。そこで、保護者、とくに、お母さん方を対象に、この貴重な夏休みをどう上手に過ごすかについて特集してみました。

夏休み期間中は、規則正しい学校生活から「解放」されて、児童・生徒の生活リズムも乱れがちです。少年非行の多くは、この長い休みの間に芽生え、育ち、秋の新学期のころには学校ざらいや家出、さらには盗み、傷害といった本格的な非行の道を歩み始めることとなります。

少年自身の解放感と気のゆるみに加えて、「休みの間くらい」とか「うちの子に限って……」といった家庭の甘やかしが、とくに夏

### インベーダーが侵略

また最近、全国的に「インベーダーゲーム」が流行し、そのゲーム代欲しさの金品の盗みがふえ、子どもの非行化が大きな問題となつてきています。

インベーダーゲームは、ゲームそのものが孤独な遊びで、人間疎外につながり特にテレビ画面で目を悪くさせるという報告がされています。また、ゲームに熱中することにより、金使いが荒くなり、友達同志でお金の貸し借りをし、他人のお金に手を出すなど、子どもの非行の要因となる可能性があります。

市内のある小学校の児童を対象とした調査では、児童の約五二%がインベーダーゲームをしたことがあるという結果が出ています。幸い、これまでそれに伴う非行は表面化していません。しかし、都市によってはそれに伴う少年犯罪が増加しています。

そのため、他都市においては、インベーダーゲームの禁止や保護者同伴などの

### 規則正しい生活を

#### 「非行の芽」は早くつみとろう

「非行の季節」から子どもを守るためには、保護者は子どものよき相談相手になって、家族全員が話し合う機会をできるだけ多く持ち、日ごろから相互理解を深める努力が大切です。

夏休み中は、とくに次の点に注意してください。

- ◆生活のリズムを崩さない
- ◆盆踊りや花火大会など夜間の野外行事が多く、夜遊
- ◆万引や自転車・オートバイなどの「盗み」が男子の七割、女子の九割を占めていることが、その傾向を裏付けています。
- ◆万引や自転車・オートバイなどの「盗み」が男子の七割、女子の九割を占めていることが、その傾向を裏付けています。

罪の意識の希薄な遊び型がふえ続けていることです。

市教育委員会においてもこれら児童の非行化防止のため、学校における指導を強化するとともに、とくに家庭での生活指導を強化するよう、保護者に強く呼びかけています。

ライブ、アルバイトなど、「豊富」な自由時間を背景に、新しい仲間と知り合う機会がふえます。

そうした友達との付き合いを通して、仲間意識からくる「もたれ合い」のほか好奇心も手伝って、さまざまな非行に走るケースが後を断ちません。

非行の芽は一刻も早くつみとることが大切です。



## きょうは市議会議員選挙の投票日

投票時間 朝7時～夕6時

みんなそろって投票しましょう

## 「子どもを水の事故と交通事故から守りましょう」



●子どものいのちを守る運動●  
＜7月1日～8月31日＞

夏がきました。子どもたちにとっては楽しい夏休みもうすぐ。でもそのカゲには、こわい水の事故や交通事故がひそんでいます。

楽しい毎日を、子どもたちが過ごせるよう、また悲惨な事故が起こらないよう、お母さんやお父さんは十分に注意してあげましょう。

